

講演の途中で、山鹿中の生徒にマイクを向ける花岡
伸和さん＝山鹿市



車いすマラソン競技で活躍 花岡さん 山鹿中生に訴え

「成功は日々の積み重ねから」

パラリンピックの車いすマラソン競技で活躍した花岡伸和さん(40)＝千葉県在住＝が14日、山鹿市の山鹿中で講演し、生徒らに「成功には、日々の小さな積み重ねが欠かせない」と訴えた。

高校3年の時、バイク事故で脊髄を損傷。へそから下がまひした。花岡さんは「人に頼らず、ごはんを口に運んだ。できることは自分で。この小さな一歩が今につながっている」と振り返った。

2004年のアテネ大会で6位に入賞したが、4年後の北京大会は出場を逃した。「やめたら終わり」と競技を続け、12年のロンドン大会はアテネ大会を超える5位に入賞。「あきらめずに積み重ね続けたことで結果を残せた」と語った。

花岡さんは「失ったものを数えるな、残されたものを生かせ」という言葉を紹介。「障害者だけでなく、誰にでも当てはまる。自分の可能性を狭めず、好きなことに向かって歩んでほしい」とメッセージを送った。

(潮崎知博)